

上之嶽

御嶽は、神、祖先、自然の力を称えるための儀式や祭祀が行われる、琉球の信仰に固有の神聖な場所です。御嶽は通常小さめで、木立、洞窟、泉、独特な石の配置などの特別な自然の特徴がある場所にあります。城の守護神が住んでいるとされるテンチジアマチジ、別称上之嶽は、今帰仁で最も重要な御嶽です。過去には、女官たちは王国の繁栄と息災および豊穡のために祈りを捧げ、男性は石垣で囲まれたこの場所に入ることを禁じられていました。

テンチジアマチジは今日でも祭祀に使用されており、年に2回重要な儀式が行われています。沖縄の他の場所と同様に、ノロまたはカミンチュと呼ばれる女性祭司がこの御嶽を維持管理し、祭祀を行います。地元の住民は頻繁にお供えやお参りを行っています。琉球のグスクに特徴的であり特筆すべき点は、城の中で最も高い位置にあり最も権威のある場所が、政治的・軍事的な機能ではなく宗教的な機能に充てられていたことです。実際、一部の歴史家は、一般的に城を意味するグスクという語は、当初軍事的な拠点ではなく宗教的な拠点を指していたと信じています。この御嶽や他の御嶽を訪れるときは敬意を払いましょう。